

■九州朝日放送番組審議会議事概要（7月分）

第585回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成28年7月11日（月） 午後3時30分～5時00分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名 欠席委員 1名（レポート提出）</p> <p>（出席委員） 光富 彰委員長、宮田 克彦副委員長、野田 幸之輔委員、三好 京子委員、藤田 ひろみ委員、井手 雅春委員、鶴 利絵委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 和氣 靖 専務取締役編成制作局長 半田 俊彦 取締役ラジオ局長 清水 透 報道局長 松延 健次 テレビ制作部長 松尾 恵美 プロデューサー 大迫 順平 ディレクター 須佐 幸二 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳 康治 事務局員 都合 信司（ラジオ）、松田 泰久（視聴者・広報室）</p>
議 題	<p>1. テレビ番組 「ガマダセ動物園 飼育員は20代！汗と涙の奮闘記」 ＜放送日＞平成28年5月28日（土）午後1時55分～午後3時</p> <p>2. 平成28年7・8月ラジオ・テレビ番組編成状況の報告</p> <p>3. 平成28年6月視聴者・聴取者応答状況の報告</p> <p>4. その他</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人命が軽く扱われる暗いニュースが多い中、大牟田市動物園の20代の飼育員と動物を通して、命の価値を子供たちに伝えつなぐ内容に感動した。 ○大牟田と言えば主要産業の衰退により人口減少、高齢化が進んだ地方都市の典型というイメージがあるが、若い人たちが意欲的に活動しているのを見て救われる気がした。 ○若い人たちの自由な発想と行動力はこの動物園だけではなく、他の事にも通じると感じさせられた。 ○1年間という長期の取材で多くのエピソードが紹介でき、良い番組に仕上がったのだと思う。 ○徳永玲子さんのナレーションが自然体で明るく、飼育員を励ます感じがして良かった。 ○全員が主人公だった。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物園の経営状況や職員の待遇なども掘り下げて欲しかった。 ○取材のきっかけや苦労について教えて欲しい。 ○動物園の改革のキーとなる人物がいたのか知りたい。 ○動物だけではなく子供達の育て方にも問題提起をしてほしい。 ○今後もぜひ、継続して取材をしてほしい。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日頃から地域に役立つ情報を伝えたいと思っているが、日常の中にドラマを見つけ、そこに「やさしさ」があることを表現したかった。 ○きっかけは「アサデス。KBC」のコーナーであったが、ハートフルなものを残したいと思い番組化した。 ○ディレクターは動物園の若い職員の信頼を得るよう努め、最終的には動物の臨終にも立ち会わせてくれる程になった。 ○改革のキーマンは園長で、若い職員が持つ最先端の知識を実践させた功績は大きいと思う。 ○今後も取材を継続して行きたい。 <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>